

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

野上川の風

発 行
二部地区活性化推進機構
愛称：二つ活
編 集
総 務 部 会

事 務 局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二 部 公 民 館 内
TEL・FAX 0859-62-7159



空き家活用講演会

空き家を地域の

お荷物から資源へ

～空き家活用講演会を開催～

2月1日（水）二部公民館で、空き家活用講演会を開催しました。いんしゅう鹿野まちづくり協議会の小林事務局長さんをお迎えし、「空き家を地域のお荷物から資源へ」という演題でお話を伺いました。

過疎化や高齢化が進む中、二部地区においても空き家対策が大きな課題になってきています。今回は空き家活用の視点から、若者を中心に100人を超える移住者を受け入れて地域活性化に取り組んでおられる鹿野の実践を聞きました。

「空き家をお持ちの方」と「空き家をお探しの方」双方の意見をよく聞き、行政や関係機関、自治会や関係者等と連携しながら活用方法を見出していくことの難しさを学びました。

会 活 動 報 告

総務部会

部長 足澤 秀基

令和4年度総務部会の活動は、例年どおり広報「野上川の風」の発行と研修会の開催で、コロナ禍の中でも遂行出来ました。

また、今年度は二部地区活性化推進機構（ニブ活）の今後のあり方を検討する基礎資料収集事業を目標として掲げていました。

年度当初はコロナ感染の状況も収まり、総務部会で委員間の対話を深める決意でしたが、まだ安穩とした状況とはならず、部会の招集も出来ませんでした。

それでも会員のみなさんの声として、活性化機構のさまざまな取組み行事の内、参加負担を感じる活動もあるのでは……との意見も耳にしています。

近い内に各種行動制限の緩和される見通しもあり、コロナ禍以降の本会のあり方（組織編成等）、進め方（事業内容の考察等）も含め、来年度1年をかけて検討します。

そのためには会員のみなさんの忌憚のない意見や提案を聴取することや、他部会とも連携を密に協議し、改革可能な行事等の調整をしていきたいと考えております。

ファンクラブ部会

部長 野口 哲男

今年度もコロナ感染症が収束しませんでした。感染症対策をやりながら出来ることを実施しました。

6月1日二部小学校の6年生が、二部を元氣する取組をニブ活の役員会に3つの提案をしてくれました。どれも良い活性化のヒントでしたが、子ども達の夢を実現させたいの思いから「幸せを呼ぶフラワーパーク」に協力することになり、ファンクラブ部会が担当しました。

7月8日ニブ活で草刈りと畑の耕運を実施しました。7月27日6年生の子ども達が「ひまわり」の種まきを行い、夏休みの間水やりと草取りを実施しました。途中台風に2回遭遇しましたが、支柱で補

強し何とか開花にこぎ着けました。10月3日看板を設置し、フラワーパークの実現となりました。10月15日世代間交流事業（ハロウィンイベント）を実施しました。

お化けカボチャを作り、作ったお化けカボチャは、浦部前バス停の前の田んぼに設置し、県

道通行の皆さんに見て頂きました。

二部地域の皆様、二部梁山泊、だんだんプロジェクトの会員の皆様の協力に感謝します。

10月22日に河崎公民館まつりに参加しました。ニブ活からは、ブースに活動紹介パネルを展示し、物販コーナーで（株）上代のどぶろくと、つくしの会の加工食品を販売しました。いつものように好評でした。

早く新型コロナウイルス感染が収束し、活気に満ちた活動がしたいと心から思います。

部員の皆さん、活動に関わって頂いた全ての皆様に感謝申し上げます、活動報告と



令和4年度

各 部

歴史ガイド部会

部長 樋口 春子

歴史部会の活動は、間地 歴史部会の活動は、間地の管理を始め7項目を挙げ取り組みました。

間地峠の管理については、6月13日、間地にお住いの方の協力をいただき14名で峠入口の脇道から、日野町舟場へ続く標高482メートルの頂上まで、出雲街道の往来が盛んな時代には茶屋が3軒もあり賑わっていたという頃に想いを馳せ、笹や草を刈り二時間ばかりの作業に汗を流しました。

一年に一度の整備活動では、草刈り機を使用しても苦勞するほど大変な作業でした。6月27日には、「出雲街道踏査の旅」として、岡山県真庭市の出雲街道 勝山宿の会石川日出夫氏を訪ねて活動内容を拝聴し、又時間の許す限り町の案内をして頂きました。私たちの活動と

ほぼ同様かと思いましたが、月一回は定期的に広報誌を発行し実践してきたものを紹介していらっしやいました。

参加した部会員が心とむ話術と安全運転に努めて頂いたドライバーの、N氏、I氏に感謝いたします。その他歴史講演会や小学校の学習支援などの活動を続けています。



産業振興部会

部長 福島 久正

1. 農産物等の集荷支援について

5月19日から11月28日までの毎週月・木曜日に、東亜青果へ野菜の出荷を4人の方が行いました。

この取組は、今後も行っていくますので、希望される方は部会員や事務局に問い合わせをお願いします。

2. 盆花販売イベントについて

8月11日に、盆花の販売イベントを行いました。この日は、アスタールや小菊を販売し、早朝のイベントにもかかわらず、多くの方に購入いただきました。

夏のイベントとして定着していきますので、今後も引き続き実施していく予定です。ぜひご利用ください。

3. 農産物等の栽培支援について

今年度も前年度と同様に玉ねぎ苗の購入補助を行い、11月に協力農家へ玉ねぎ苗2万本を配布しました。

栽培希望者を広く募るため、チ



ラシの全戸配布を行いました。あまり問い合わせはありませんでしたが、やってみようと思われる農家の方があれば、ぜひ参加いただきたいと思います。

4. ふるさと小包便について

今年度もふるさと小包便の販売を二回実施し、夏と冬に60箱ずつ販売しました。首都圏や関西にも発送し、広く二部の味を全国に届けることができました。

今後も魅力的な商品をそろえながら、二部の良さを知ってもらい小包便になるように取り組んでいきます。

令和4年度 各 部 会 活 動 報 告

住みよい環境部会

部会長 中田 京子

令和4年の住みよい環境部会の活動実施の報告をします。

◆6月19日と11月13日に地区内を6つの地域に分け、住民により道路・河川の一斉清掃を実施しました。前期・後期合わせて426人の参加によって瓶や缶その他沢山のゴミが集められ、きれいになりました。交通量の多い道路はまだまだポイ捨てが多いと感じました。

◆友愛訪問実施では二部地区の80才以上の1人住まいの方へ、6月のおもてなし弁当配布、12月のクリスマスプレゼントにお手紙を添えてお渡しし皆さんに喜んでいただき感謝の言葉をいただきました。

◆11月の菊花展も、講師の忠田さんにお世話になり、6月の挿し芽作業から多くの方に育ててもらい、42鉢の出品があり会場を賑やかに彩りました。「今度は私も作って参加したい」と嬉しい声も聴き

ました。

◆部会員で管理・手入れしている花壇は花が絶えない様に、時期が来れば芽を出してくれる宿根草を植えたり、開花時期の長い花々を植え心が癒される花壇作りを心掛けています。



健康スポーツ部会

部会長 住田 浩平

健康スポーツ部会では、会員の皆さんの健康増進、会員相互の親睦と交流を目的に、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会、カローリング大会の開催及び町民運動会二部地区大会の運営協力を行っています。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動の自粛を余儀なくされる中、3年ぶりに健康ウォーキングを11月23日に実施する予定でしたが、あいにくの悪天候のため当日中止の判断をさせていただきました。

12月以降は新型コロナウイルスの新規感染者数の増加傾向が続き、第8波が始まりました。12月13日には鳥取県西部地域に鳥取県版新型コロナウイルス警報の特別警報が発令され、行動制限は行われないまでも感染予防対策の徹底が必要なことから、その後のイベントの開催を控えさせていただきます。楽しみにしてください。開催を控えた方には申し訳ありませんが、ご理解いただきたいと思います。

4月以降は新型コロナウイルスの感染症法上の分類について、季節性インフルエンザ並みの扱いに緩和するとうい動きもあり、来年度はコロナ禍以前の活動が少しずつでも再開できるのではと期待しているところです。今後も、皆さんが楽しく参加できるよう、新たな内容を取り入れながら活動していきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。